

東京都教育委員会
平成27年度 校務改善推進事業発表会

市内全校で取り組む校務改善
～学校と教育委員会の絆による取組～

平成27年11月12日（木）
武蔵村山市教育委員会

全体構成

1 本市の小・中学校と教育委員会の概要

2 本市における学校経営支援組織

3 学校事務の共同実施による校務改善

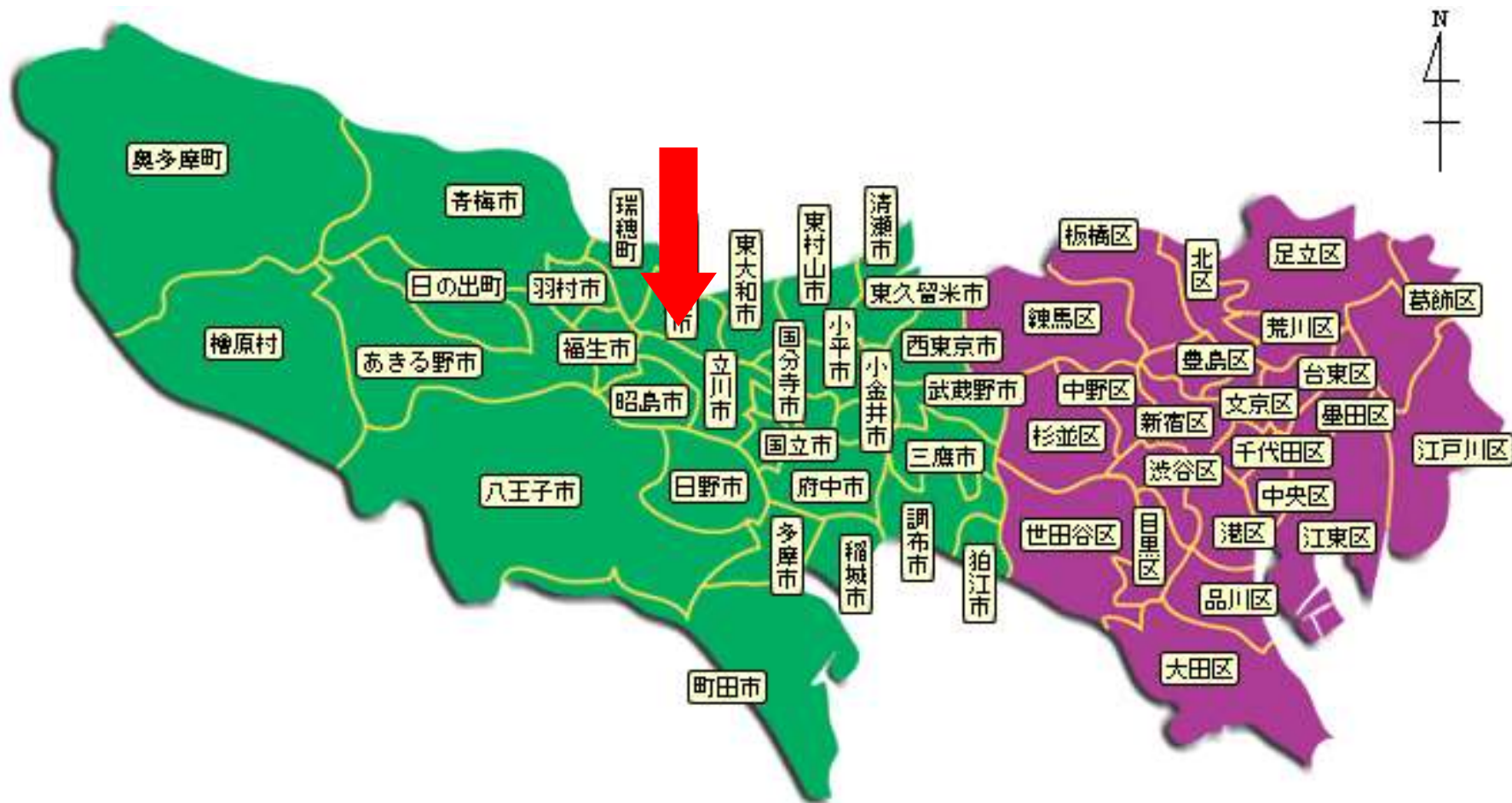
4 まとめ

1 本市の小・中学校と教育委員会の概要

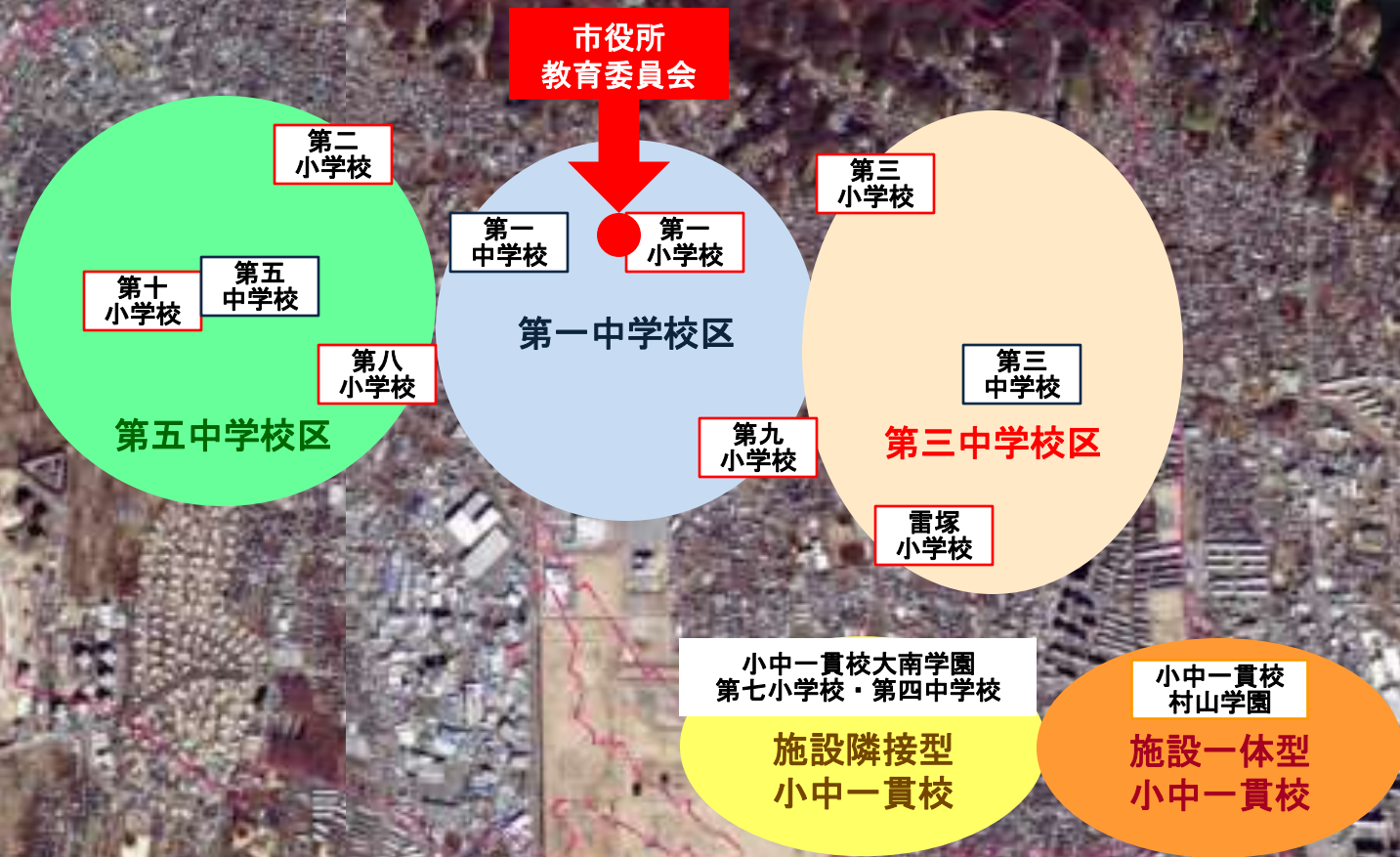
1 本市の小・中学校及び小中一貫校の概要

平成27年10月1日 現在

| 項 目 | | 数 |
|------|----------|---------|
| 人 口 | | 72,067人 |
| | 児童数（小学生） | 4,612人 |
| | 生徒数（中学生） | 2,147人 |
| 学校数 | | 12校 |
| | 小学校 | 7校 |
| | 中学校 | 3校 |
| | 小中一貫校 | 2校 |
| 教職員数 | | 372人 |



武蔵村山市の衛星写真



2

武蔵村山市の教育課題

- 学力の現状
- 体力の現状
- 規範意識の現状（問題行動・生活習慣等）

3

課題解決に向けた取組状況

● 学力向上 → 授業改善・授業力の向上

① 小中連携による校内研究の充実

② 一校一研究の推進（研究指定校）

国の指定 10（道徳の教科化・英語の教科化等）

都の指定 20（言語能力向上拠点校・オリンピック・パラリンピック教育推進校等）

市の指定 16（特色ある教育・NIE教育推進校）

③ 塾講師の特進講座

3

課題解決に向けた取組状況

● 体力向上

① 各学校の特色ある取組

小中一貫大縄大会

週1回「すもうの日」

〇〇小オリンピック 等

② 教育委員会主催のスポーツ事業

サッカー大会

ドッジボール大会

駅伝大会 等

3

課題解決に向けた取組状況

● 規範意識の醸成（問題行動・生活習慣等）

① 各学校の特色ある取組

小中合同挨拶運動

全員面接

完全午前5時間制 等々

② 教育委員会の取組

校長・副校長・主幹教諭対象の研修会

関係機関との連携強化

特別支援教育の充実 等々

校務改善

2 本市における学校経営支援組織

1 各学校の学校経営支援組織

● 学校経営支援組織の設置状況

平成24年度 第二小学校・第十小学校・第三中学校・第五中学校
平成25年度 雷塚小学校
平成26年度 村山学園・第八小学校・第九小学校・第一中学校
平成27年度 第一小学校・第三小学校・第七小学校・第四中学校

● 学校経営支援組織の構成

校長・副校長・主幹教諭・主任教諭・都事務
・ **都事務支援員** 等

2 学校経営支援組織の運営状況

- 実施頻度

- ①週 1 回

- ②月 1 回

- ③適宜

- 検討内容

- ①予算の執行状況確認

- ②学校行事の運営

- ③情報共有

1

学校事務の共同実施とは

● 概要

学校事務のうち、都事務が行う総務・人事・給与・福利厚生等を拠点校で集中的に処理し、学校事務室は副校長及び教員の業務を補佐する。

● 実施形態

拠点校に4人の都事務を配置し、学校事務室に1人ずつ都事務支援員（一般職非常勤職員）を置く。

*** 7校の学校事務を11人で行う。**

2 学校事務の共同実施による校務支援

● 副校長支援例

- ① 学校基本調査の支援
- ② 休暇取得調査
- ③ 出勤簿・休暇簿等の作成支援
- ④ 施設の外部団体への貸出業務
- ⑤ 文書の印刷・配布

● 教員支援例

- ① 私費会計処理
- ② 転出入関係処理
- ③ 各種証明発行業務

3

学校事務の共同実施による成果

- 副校長が人材育成に関わる時間を確保
- 教員が子供と関わる時間や教材研究する時間を確保
- 学校事務のチェック機能の強化
- 学校施設貸出業務の円滑化

「先生には、先生にしかできない仕事をしてほしい。」

御静聴ありがとうございました。

武蔵村山市教育委員会